

平成28年 火災と救急救助の概要

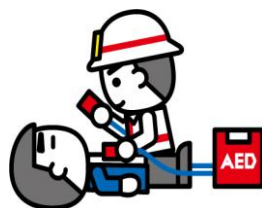
消防本部予防室 (☎ 0595-82-9492)

消防本部消防救急室 (☎ 0595-82-9496)

火災 31 件

救急 2,199 件

救助 39 件



●火災の概要 【消防本部予防室】

平成28年中の火災件数は31件で、前年に比べて19件増加しました。また、火災による死傷者は3人でした。

項目別では、建物火災が9件で前年に比べて7件増加し、うち住宅火災は5件でした。

火災原因の多くは、枯草焼き、たき火など火の不始末や不注意によるものでした。

火を取り扱う際は、その場を離れない、消火器を準備しておくなど十分注意しましょう。

| 項 目 | | 平成27年 | 平成28年 | 前年比 |
|------|--------|-------|-------|-----|
| 火災件数 | 建物火災 | 2 | 9 | +7 |
| | 林野火災 | 2 | 1 | -1 |
| | 車両火災 | 4 | 6 | +2 |
| | その他火災 | 4 | 15 | +11 |
| | 合 計 | 12 | 31 | +19 |
| 死傷者 | 死者(人) | 0 | 1 | +1 |
| | 負傷者(人) | 0 | 2 | +2 |

※その他火災とは、建物、林野、車両に該当しない火災です。(例：空地の枯草や田畑の火災など)

| 主な出火原因 | 平成27年 | 平成28年 |
|--------|---------|-------|
| | たき火 | 枯草焼き |
| | 枯草焼き | たき火 |
| | 排気管(車両) | 放火の疑い |

●救急救助の概要 【消防本部消防救急室】

■救 急

・事故種別出動件数、搬送人員（表 1）

平成 28 年中の出動件数は 2, 199 件、搬送人員は 2, 113 人で、前年と比べて出動件数は 182 件増加し、搬送人員は 206 人増加しました。

1 日の平均出動件数は 6. 0 件で、平均搬送人員は 5. 8 人となっています。

事故種別では、急病によるものが最も多く、次いで一般負傷、交通事故の順となっています。

（表 1）

| 事故種別 | | 年 別 | | |
|------|------|---------|---------|-------|
| | | 平成 27 年 | 平成 28 年 | 前年比 |
| 火 災 | 出動件数 | 6 | 8 | + 2 |
| | 搬送人員 | 0 | 3 | + 3 |
| 自然災害 | 出動件数 | 2 | 0 | - 2 |
| | 搬送人員 | 0 | 0 | ± 0 |
| 水 難 | 出動件数 | 0 | 1 | + 1 |
| | 搬送人員 | 0 | 1 | + 1 |
| 交通事故 | 出動件数 | 252 | 239 | - 13 |
| | 搬送人員 | 258 | 251 | - 7 |
| 労働災害 | 出動件数 | 22 | 22 | ± 0 |
| | 搬送人員 | 21 | 22 | + 1 |
| 運動競技 | 出動件数 | 11 | 6 | - 5 |
| | 搬送人員 | 10 | 6 | - 4 |
| 一般負傷 | 出動件数 | 303 | 324 | + 21 |
| | 搬送人員 | 286 | 309 | + 23 |
| 加 害 | 出動件数 | 8 | 8 | ± 0 |
| | 搬送人員 | 8 | 7 | - 1 |
| 自損行為 | 出動件数 | 15 | 19 | + 4 |
| | 搬送人員 | 10 | 13 | + 3 |
| 急 病 | 出動件数 | 1, 270 | 1, 454 | + 184 |
| | 搬送人員 | 1, 189 | 1, 387 | + 198 |
| その他 | 出動件数 | 128 | 118 | - 10 |
| | 搬送人員 | 125 | 114 | - 11 |
| 合 計 | 出動件数 | 2, 017 | 2, 199 | + 182 |
| | 搬送人員 | 1, 907 | 2, 113 | + 206 |

・被搬送者の傷病程度別比率（表2）

平成28年中の被搬送者2,113人における傷病程度の比率は、軽症が1,079人で51.1%、中等症が875人で41.4%、重症が99人で4.7%、死亡・その他が60人で2.8%となっています。前年と比べて軽症の占める比率が減少しました。

（表2）

| 年 別 | | 平成27年 | 平成28年 |
|--------|------|-------|-------|
| 傷病程度 | | | |
| 軽 症 | 搬送人員 | 1,002 | 1,079 |
| | 比 率 | 52.5% | 51.1% |
| 中等症 | 搬送人員 | 734 | 875 |
| | 比 率 | 38.5% | 41.4% |
| 重 症 | 搬送人員 | 116 | 99 |
| | 比 率 | 6.1% | 4.7% |
| 死亡・その他 | 搬送人員 | 55 | 60 |
| | 比 率 | 2.9% | 2.8% |
| 合 計 | 搬送人員 | 1,907 | 2,113 |

※ 軽 症：入院を必要としないもの
 中等症：入院を必要とするもので、重症に至らないもの
 重 症：三週間以上の入院加療を必要とするもの
 死 亡：初診時において死亡が確認されたもの
 その他：医師の診断がないものなど

・被搬送者の年齢区分別比率（表3）

平成28年中の被搬送者における年齢区分別比率は、高齢者が1,195人で56.5%、成人が720人で34.1%、少年が71人で3.4%、乳幼児が125人で5.9%、新生児が2人で0.1%となっています。高齢者の占める比率が増加傾向にあります。

（表3）

| 年 別 | | 平成27年 | 平成28年 |
|------|------|-------|-------|
| 年齢区分 | | | |
| 高齢者 | 搬送人員 | 1,034 | 1,195 |
| | 比 率 | 54.2% | 56.5% |
| 成 人 | 搬送人員 | 690 | 720 |
| | 比 率 | 36.2% | 34.1% |
| 少 年 | 搬送人員 | 73 | 71 |
| | 比 率 | 3.8% | 3.4% |
| 乳幼児 | 搬送人員 | 109 | 125 |
| | 比 率 | 5.7% | 5.9% |
| 新生児 | 搬送人員 | 1 | 2 |
| | 比 率 | 0.1% | 0.1% |
| 合 計 | 搬送人員 | 1,907 | 2,113 |

※ 高齢者：65歳以上の者
 成 人：18歳以上65歳未満の者
 少 年：7歳以上18歳未満の者
 乳幼児：生後28日以上7歳未満の者
 新生児：生後28日未満の者

・医療機関への市別搬送比率（表４）

平成２８年中の市別医療機関における搬送比率は、市内医療機関への収容率が４８．９％で、市外医療機関への搬送が５１．１％となっています。

（表４）

| 市 別 | | 年 別 | | 平成２７年 | 平成２８年 |
|------|------|-----|--|-------|-------|
| 亀山市 | 搬送人員 | | | ９３８ | １，０３４ |
| | 比 率 | | | ４９．２％ | ４８．９％ |
| 鈴鹿市 | 搬送人員 | | | ７１２ | ７９５ |
| | 比 率 | | | ３７．３％ | ３７．６％ |
| 津 市 | 搬送人員 | | | １４７ | １７６ |
| | 比 率 | | | ７．７％ | ８．３％ |
| 四日市市 | 搬送人員 | | | ９７ | ９２ |
| | 比 率 | | | ５．１％ | ４．４％ |
| その他 | 搬送人員 | | | １３ | １６ |
| | 比 率 | | | ０．７％ | ０．８％ |
| 合 計 | 搬送人員 | | | １，９０７ | ２，１１３ |

・現場到着・病院収容までの平均所要時間（表５）

平成２８年中の現場到着までの平均所要時間は、８．１分で前年と比べて０．６分短縮しました。また、病院収容までの平均所要時間は、４０．１分で前年と比べて０．５分短縮しました。

（表５）

| 年 別 | | 平成２７年 | 平成２８年 | 前年比 |
|---------|--|-------|-------|------|
| 所要時間 | | | | |
| 現場到着（分） | | ８．７ | ８．１ | －０．６ |
| 病院収容（分） | | ４０．６ | ４０．１ | －０．５ |

■救急車の適正利用と救急医療情報システムの利用

救急車の適正利用については、広報「かめやま」、ＺＴＶの文字情報や救急講習会などを通じて、市民の理解と協力をお願いしていますが、依然として明らかに軽症と思われる方、タクシー代わりの出動要請など緊急性の低い事例がみられます。

「救急」の場合は、希望の医療機関へ搬送できるとは限りません。また、医療機関では、重症者の治療が優先されます。

救急車を呼ぶほどではないが、すぐに受診を希望される場合は、下記の《救急医療情報システム》を利用してください。

《救急医療情報システム》

パソコン **URL** <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/>

携帯電話 **URL** <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/k/>

自動案内 ☎0800-100-1199（通話料無料・ファックスでも受信可能）

医療情報センター（対人案内） ☎82-1199

※受診の際は、必ず紹介された医療機関に事前確認してください。

※救急車を呼ぶべき症状について詳しくは、市消防本部のホームページをご覧ください。

(**URL** <http://www.city.kameyama.mie.jp/shobo/index.html>)

■救 助

平成28年中の救助件数は39件で、前年に比べて10件増加しました。交通事故に伴う救助出動が最多となっています。

災害はいつ起こるか分かりません。日頃から災害に対して備えましょう。

| 救助の概要 | | 27年 | 28年 | 前年比 |
|--------|----------------|-----|-----|-----|
| 事故種別件数 | 交通事故 | 21 | 22 | +1 |
| | 水難事故 | 0 | 2 | +2 |
| | 建物等による事故 | 1 | 2 | +1 |
| | 風水害等 自然災害事故 | 1 | 0 | -1 |
| | 機械による事故 | 0 | 0 | ±0 |
| | その他の事故 | 6 | 13 | +7 |
| | 合計 | 29 | 39 | +10 |

※その他の事故とは、交通事故、水難事故などに該当しない事故です。

■災害情報案内の利用

火災などの災害情報を自動音声案内や市消防本部ホームページ（軽易なものは除く）に掲載していますので、ご活用ください。

《自動音声案内》

☎82-9555

《市消防本部ホームページ》

URL <http://www.city.kameyama.mie.jp/shobo/>